

はじめに

今月は雪もすっかり溶け、桜と思われる木の花がいたるところで咲くようになりました。暖かくなったせいか、大学中央の広場 Main Quad ではフリスビーで遊ぶ学生や、何人かで芝生の上に座り談笑している学生の姿が見られます。また、3月は1週間の Spring break があり、その期間は昼間であってもキャンパス周辺に歩行者の姿が見られないほど閑散としていました。本報告書では授業以外での活動や Spring break 中の旅行などについて述べます。



図 キャンパス周辺の木々の開花

イリノイ大学周辺の移動手段

いきなりですが、イリノイ大学は規模の大きい大学なので、移動はどうしているのか?という疑問があるかもしれないので、ここで述べさせていただきます。大学周辺はバスが縦横無尽に走っているため、基本的にはそれを利用することになります。学生証を運転手に見せればどこからどこまで乗ってもお金を払う必要はありません。本数も非常に多く、15分くらい待てば次のバスがきますが、バスの種類が多いのでどこに行くバスなのかきちんと調べないと全く逆方向に行く可能性もあります。AndroidのスマートフォンであればGoogle mapでルート検索ができますし、iOSであれば専用のアプリがあるので、乗るバスの名称、出発時刻、到着時刻を簡単に調べることができます。バスが充実しているせいか、近い距離でもバスに頼る学生が少なからずいるように思います。実際、私の寮から大学までは数百メートル程度なので10分ほどかけて歩いているのですが、友人には、どうしてバスを使わないのかと驚かされてしまいました。便利すぎる世の中は人をダメにするというのは本当なのだろうと考えてしまいました。

オフィスアワーなど

授業の課題をやっているところをたまにオフィスアワーの時間に先生に質問しに行くのですが、私のしどろもどろな英語でもちゃんと理解して、なるべく簡単な言葉で説明してくれるので非常に助かっています。また、ホワイトボードを使って図示しながら教えてくれるので理解しやすいです。学生と話ときは相手の話すスピードが速いため相手が言ったことをあまり理解できないことが多いのですが、先生は私のためにゆっくり話してくれるのでコミュニケーションがとりやすいと感じます。先生と話しているときが一番リラックスして会話できているかもしれません。

オフィスアワーではないですが、先月の報告書で記述したポスター製作に関するワークショップのときに、今年発表する学会のabstractを添削していただけることになったので、早速見てもらいました。こちらも先生が丁寧に教えてくれたので、相談してよかったです。読んでいてわかりにくいところは適宜口頭で説明しながら修正していきましたが、全体の構成や流れは問題なく、研究背景や取り組み方、結果など、伝いたいことはちゃんと分かるとのことだったので、ほっとしています。文章の切りどころや、アメリカ英語で使われる単語の選択などを指摘されて修正しましたが、こういったところはまだちゃんと理解できていないと改めて実感しました。

Spring Break 中の旅行, その他

1 週間ある休暇を大学周辺で過ごすのはもったいないと考え、同交換留学プログラム生の内田さんとナイアガラの滝へ旅行することになりました。夏だと観光客で賑わうそうですが、この時期はそれほど人が多くなく、のんびりと滝を眺めることができました。ここは有名すぎるほどの観光名所なので写真や映像はよく見ていたのですが、実物は予想よりもずっと巨大で、距離感が狂ってしまうほどです。その雄大さと、自然が作り出した絶景の不思議さに、来てよかったと強く思いました。滝はアメリカ側とカナダ側から見るのですが、多くの友人に、是非ともカナダ側からも眺めてほしいと言われていたので、事前に ISSS で国外へ行く許可を頂いてカナダに渡ることになりました。ちなみに、アメリカからカナダへは、川にかかる橋を歩いて渡って、パスポートと VISA を見せるだけなのでとても簡単でした。カナダからの眺めは、アメリカ側よりずっと滝の迫力を感じられ、素晴らしかったです。どちらがいいかは好みによりますが、やはり両方見るのが正解だと感じました。ただ、滝周辺が水しぶきと強風で凍り付いており、滝のすぐそばまで行ける歩道や展望台が閉鎖されていたのは残念でした。また、名物の一つである、霧の乙女号と呼ばれる遊覧船もこの時期は運航しておらず、そちらも断念せざるを得ませんでした。これらは4月から解禁されるそうなので、初めてナイアガラへ行こうと考えている方には春以降の旅行プランをおすすめします。

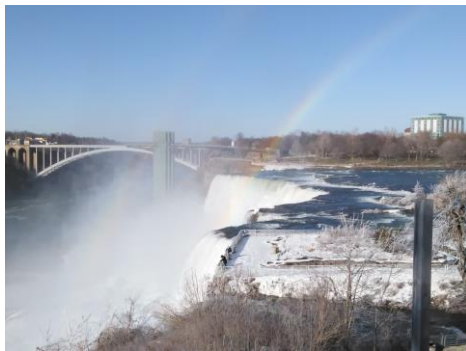


図 アメリカ側からの滝

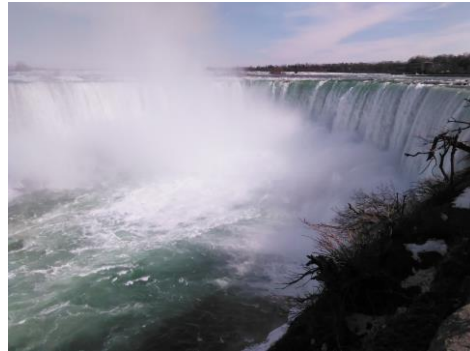


図 カナダ側からの滝

ナイアガラからシャンペーンに戻ってからは、こちらの知人らと釣りをしに行ってきました。アメリカで釣りをするにはライセンスが必要とのことで、当日朝にアウトドアショップで釣竿、ルアー、ライセンスを購入してから、車で40分ほどの距離にある Clinton rake という池に向かいました。あいにく当日は少し雨が降っていたので池にかかる橋の下から3時間ほど粘っていたのですが、結局一匹も釣れずにボウズという結果で終わってしまい残念です。ブラックバスが釣れるところとこのことでしたが、ヒットすらありませんでした。私はワームタイプのルアーを使用していたのですが、スプーンタイプを使った知人は3匹も釣り上げていたので、次の機会にはそちらを購入してリベンジしたいと思います。



図 Clinton rake

Spring Break の週末には、Dance Dance Revolution という日本のリズムゲームの大会がイリノイ大学の一角で行われ、開催期間の3日間はずっと多くの人でごった返していました。このゲーム筐体はRec room という大学内のレクリエーション室にあり、足を使ってリズムを刻む単純なゲームです。私も息抜きと運動を兼ねてたまにプレイしていますが、他の大会参加者のレベルが非常に高く、手も足も出ませんでした。参加者はイリノイ大学学生よりも、ニューヨークやインディアナなどから来ている人が大半で、普段会えない人たちと会うとても良い機会となりました。その中に、偶然にも5年ほど前に金沢工業大学に留学していた学生がおり、日本語を交えつつ、留学の感想や日本で何をしてたのかを聞くことができました。彼の日本語の流暢さに比べて私の英語はつたないと伝えると、そんなことはない、ちゃんと聞き取れるから問題ないよと言ってくれたのはとてもうれしかったです。彼にとって日本留学はとても良い経験だったとのこと、私も帰国してから同じことが言えるように、精一杯頑張ろうと思います。



図 Dance Dance Revolution 大会の様子

おわりに

今月は長期休暇もあったことで授業の書くネタがあまりなかったのですが、休暇中の行事などに焦点をあてましたが、意外と色々参加したんだと驚いています。少なくとも日本にいた頃よりはアクティブな日々を送っていることは間違いありません。勉強ももちろん大事ですが、様々な活動を通して友人を増やすことも大事だと思いますので、帰国までの1か月間、悔いの無いように積極的な行動を心掛けていきたいです。

3月分の報告は以上です。